

平成29年度中村町内会・組織等検討委員会では、委員会議事内容を、中村町内会会員の皆様に、「中村町内会ホームページ」及び「各戸配布（第6回以降）」にて周知致します。

ご理解の程、よろしくお願いいたします。 …次回（第7回内容）→11月下旬予定

平成29年度第6回町内会組織等検討委員会議事録

日時：10月7日（土）17:00～19:00 中中村自治集会所

出席者：委員：松本貴広、岡村順司、栗原裕明、伊藤健吾、安達恒三、寺田武雄、佐佐木昌幸（書記）
（順不同、敬称略）

町内会役員：松永勝次、宮崎巨、足立原宏司、磯川修（順不同、敬称略）

欠席：大貫幸男、小野原一夫（順不同、敬称略）

議題：

1. 前回の経緯：第5回の議事録を基に確認。確認後、中村町内会ホームページに掲載。

2. 協議事項

（1）構想案の検証①

[1] これまでの検討内容を振り返って

①各種委員会

②関連団体組織

③上部組織

※①～③について、各種委員会の代表から3回にわたり状況報告していただき、ヒアリングを行なった。

[2] 「三町内会としての様々な課題、メリット・デメリット」

今回は、「役員の選出」「会計関係」「行事（イベント）」「関連団体（子供会・長寿会等）の活動」の観点からフリートーキングを行なった。

○はじめに委員から「メリット・デメリット」という言葉ではなく、「三町内会」とした場合、今とどこがどう変わるかという表現の方が良いと提案があった。

○「三町内会」を考える場合、上・中・下自治会を一つ町内会とする案、三自治会を二つの町内会とする案、現三自治会の区分けを組み直し、横のつながりができやすい平均化した世帯・人員として三町内会とするなど考えられるが、あくまでも昨年度の中村町内会総会における提言に対して組織をどうするかに絞り考え、エリアを変えろという提案ではない（現三自治会をそのまま三町内会へ移行）。

①「役員の選出」

*三町内会とした場合、どこまで人員が必要か、組織の再構築する必要も考えられる。

*毎年選出に苦勞している町内会役員の選出が必要ない。

*役員のパネル数としては現状と同じ。

*上部団体、関連団体等のつながりが必要かどうかは各町内会で検討。ただし周辺の町内会との関係もあり、単純にはできない。

★「役員の選出」の面から大雑把にまとめると、〈現在の自治会長〉が〈町内会長〉の役割を担うこととなり、負担・責任が増す。

②「会計関係」

- *各種委員会が全て独立していないー町内会予算につながっている。
- *収入・支出は総枠変わらないが、上部組織・関連団体に参加するかどうかで変わる。
- *ホームページの取り扱い（スタッフ、費用）
- *三町内会での会費の整理・調整が必要。
- ★「会計関係」の面からいえば、収支は変わらない。

③「行事（イベント）」

- *三町内会にした場合、約束事を確認する必要がある。
- *各種委員会は独立させそれぞれで運営していくものと、三町内会としての運営していくものと考えられる。
- *行事をどうするか？・・・続けていきたい。
- *三町内会の交流の場としてのイベントが必要。
- *盆踊り、どんど焼き、御輿祭りは独立した専門部としたらどうか。この場合、責任の所在は誰になるのか（三町内会長、委員長）。各届け出書類は実行委員長名では不可。
- *現状も課題を抱えているが新たな課題も生まれる。どうしてこうなってしまったとまらないようにシミュレーションの必要がある。
- ★「行事（イベント）」としては、様々な課題大きい。運営の仕方など組織として考えなくてはいけない。

④「関連団体（子供会・長寿会等）の活動」

- *現町内会として一つの組織となっているがどこが？誰が？みていくのか。
- *子供たちの校区が小山小学校、小山中央小学校の二つになっている。
- *子供会としてのあり方を検討する必要あり。
- *子供会は若い親、自治会加入促進へつなげたい。加入への動きも早い、抜ける場合の動きも早い。
- *長寿会への参加者も少数。活動を知らない。
- ★「関連団体（子供会・長寿会等）の活動」については、運営方法が課題。

(2) 今後の日程

- 10月28日（土）18：00～20：00 「町内会規約・委員会予算」
自治会長を通し、各自治会から何名か出席していただき、自治会単位で話していただく。フリートーキングとする。
- 11月19日（日）19：00～21：00
- 11月26日（日）17：00～19：00
11・12月に委員会としてどのように考えるのか年度末に向けてのまとめ、町内会への報告スケジュール

以 上